

第3回東温市学校等の在り方検討委員会 概要

日時	令和8年2月4日（水）19時00分～20時40分
場所	東温市役所4階 405会議室
出席者	東温市学校等の在り方検討委員会委員15名 事務局長 保育幼稚園課2名（課長、課長補佐） 学校教育課3名（課長、課長補佐、係長）
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 事務局長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>（1）アンケート調査の結果について</p> <p>委員に対し、10月に実施した「学校等の在り方に関するアンケート調査」の結果について説明。説明後、委員一人ひとりに対し、感想等をお伺いした。</p> <p>小規模小学校の委員も含め、今後、子どもの数も減っていく中で、子どもたちの教育環境を考えた場合、統廃合の方向に向かうのはやむを得ないとの感想が多く聞かれた。同時に、小規模校を全校残してほしいということではないが、大規模校に馴染めない児童や不登校児童等の受け皿となる学校は今後とも必要ではないかとの意見も多くあった。</p> <p>（2）教育委員会からの諮問事項について</p> <p>アンケート調査結果を踏まえ、市教育委員会からの諮問事項である「統廃合の基準」について協議を行った。</p> <p>委員からは、様々な意見をいただいたが、具体的な統廃合の基準を決定することはできなかつたため、次回の委員会において、再度協議することとなった。</p> <p>【意見概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基準は、数字（児童数・学級数等）で、決めた方が良いのではないか。 ◆ある時点で、この数値を切っていたら直ちに統合するという基準ではなく、「〇年間連続で、〇〇人以下（〇〇学級以下）の状態が続いた場合、近隣小学校と統合を進める。」等、地域や保護者が検討する時間が必要という意味でも、一定の猶予期間があった方が良いのではないか。 ◆統合する場合、保護者・子どもたちの環境や心の準備期間を設けるため、一定の移行期間が必要。ただし、移行期間中で

	<p>も、本人が希望する場合は、統合先の学校に通わせることができる等、子どもたちが、選択できるようにしてほしい。</p> <p>◆統廃合の方向性は理解できるが、子どもたちが希望した場合に小規模小学校を選択できる環境は残してほしい。</p> <p>◆小規模小学校の児童（6年生）の意見を聞くことはできないか。（小規模小学校ではなく、本当に大規模小学校に通いたいというような意見等はないか。）</p> <p>（3）次回の委員会開催日について 令和8年度のなるべく早い段階で開催したい。（5月又は6月） 現委員の任期は、今年度末までであるが、継続的な議論を行うため、引き続き、委員をお願いしたい。</p> <p>（4）その他 特になし</p> <p>4 閉会</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------